

海外派遣留学生
留学報告書
アメリカ・シラキュース大学

| | | | | |
|------------|------------------------|------|-------|----------|
| 学部学科・研究科専攻 | 文学部英語文化コミュニケーション学科 | | 留学時学年 | 2年 |
| 留学先 | 国 | アメリカ | 大学/機関 | シラキュース大学 |
| 期間 | 2025年1月6日 ~ 2025年3月24日 | | | |
| | 中期 | 計3ヶ月 | | |

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名 (受講科目・複数可)

・授業時間数:

1. 7.5 hrs./week 9weeks
2. 7.5 hrs./week 9weeks
3. 5 hrs./week 9weeks

・科目名:

1. Level 3 Oral Communication
2. Level 3 Textual Communication
3. Level 3 Accuracy

| 時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|--------------|---|---|---|---|------|------|------|
| 8時45分~10時15分 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | Free | Free |
| 10時30分~12時 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | Free | Free |
| 13時15分~ | ○ | ○ | ○ | ○ | Free | Free | Free |

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

クラス人数 10人 (ウクライナ人2人、カザフスタン人1人、中国人2人、日本人4人、ブラジル人1人)
Haley (Oral Communication,使用教材:Listening & Notetaking Skills):基本的に教材を中心としたディスカッションをクラスメートと行う授業でした。二週間に1度のペースでポキャブラリー、もしくはリスニングの小テストを行いました。最終試験はプレゼンテーション+リスニングの試験でした。

Tara (Textual,使用教材:Making Connections, Final Draft):リーディング、ライティングの二つの教材を一週間ごとに、交互に使用した授業。主にリーディングの授業で読んだ教材のフォーマットを使用したエッセイを書く練習をしました。

Amy (Accuracy,使用教材:Grammar and Beyond):グラマーの教材を使用した、ネイティブスピーカーの時制の使い分けの感覚をとらえることを目的とした授業でした。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

同じ語学学校に通う友達と図書館で勉強をしたり、アジアアメリカンと留学生中心のコミュニティーの友達と遊びに行ったりしました。週末や連休では、都市部や別の州へバスで行きました。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポー

ツ施設等)

Bird library
Shine center
Barns center

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋 2人で使用

様子: Copper Beach Commons という寮に滞在していました。ルームメイトが雑談を苦手とするタイプの人だったので、基本的に会話はあいさつ程度しかしませんでした。私の場合はルームメイトがフライパンや炊飯器などを持っており、貸してくれたのであまり買う必要はありませんでしたが、設備は、ルームメイト頼りであるという点があります。A棟とB棟でも部屋に違いがあり、A棟にはシアタールームやフィットネスルームなどの設備がありますが窓がなく、B棟には窓があります。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- **楽しかったこと:** 通っていた語学学校の先生方がとても優しくかったため、平日に授業を受けること自体がとても楽しかったです。また、あちら国柄なのか、イベントごとをととても大切にしており、語学学校全体で行われるパーティーへの参加も思い出の一つとして残っています。休日には、コミュニティーの友達とともに近くのモールや、他の町、州へ旅行に行っていました。旅行先でのアクティビティが自分にとっては新鮮なものばかりで興味深かったのはもちろん、彼らの小さなことは気にしない考え方や、文化に触れる度に楽しいと感じました。帰る直前の春休みの間に、特に、友達9人で一週間の泊まり込み旅行へ行ったことは、忘れられない思い出になりました。
- **苦労したこと:** 留学中に苦労したことは、ネイティブスピーカーと英語を話してミスをする事への恐怖心を克服するのに時間がかかったことです。私はアメリカについて初めの三週間はこれを理由に、コミュニティーにいたのにも関わらず、自分から人に話しかけようとせず、話をして便利なフレーズを使ってすぐに会話が終わってしまったりしていました。しかし、話していくうちに多少のミスをしたところで誰も気にしないということ、文法構造が多少変でも意外と伝わるということがわかりました。また、語学学校には様々な国から来た人がいるので、カルチャーショックやアクセントなど、理解しづらいことがありましたが、次第に慣れました。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

アメリカに留学して、私の語学力は飛躍的にアップしたと感じています。語学力に関して、私が考える留学の最大のメリットは、スピーキング能力の向上です。留学をする前よりも言いたいことをすらすらと英語で言えるようになったのはもちろん、現地でしか使わないスラング、簡単に使えるフレーズを習得することができました。また、リスニングの能力も向上しました。今までは動画など、顔と口の動きを見ながらでなければ聞き取りが難しかったのですが、留学に行ってから、電話上の耳から入る情報だけでも聞き取りが可能になったので、TOEIC のリスニングのスコアも取りやすくなりました。

2) 専門知識の向上:

私の専攻は言語学と教育学です。言語学では、日本語と英語で文を比べることがしばしばあります。そこで大切にされるのがネイティブスピーカーの直観です。アメリカに行き生の英語を聞いたことで、この感覚が臆気ながら分かってきました。教育学では、ボランティアに行った時、海外の生徒の親御さんへ宛てた手紙で、教員は、彼らの意思をどのように伝えたら良いか困っていました。アメリカに行き、生の英語を聞いたことで、似たような単語の棲み分けが出来るようになりました。これを活かせば、私が教師になり日本以外の国籍と関わりを持った生徒を適切に支援することができます。

3) 自己成長など

私の専門は教育学です。ボランティアに行った時、海外の生徒の親御さんへ宛てた手紙で、教員は、彼らの意思をどのように伝えたら良いか困っていました。アメリカに行き、生の英語を聞いたことで、似たような単語の棲み分けが出来るようになりました。これを活かせば、私が教師になり日本以外の国籍と関わりを持った生徒を適切に支援することができます。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

まずは大学でも、外部でも良いのでコミュニティーに所属することを強くお勧めします！また、海外に行くだけでは英語の能力は伸びません！友達と話すことがスピーキングにおいて最も良い練習です。語学学校のテキストを使った自主学習も大切ですが、自分的にはそれは日本でもできると思うので、空いている時間はとにかく友達と遊びましょう！それは勉強であると同時にストレス発散にもなるので、1番良い学習法と言えるでしょう！また、留学生活は本当にあっという間に終わるので、とにかくそこでしかできないこと(旅行など)を計画的に行いましょう！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

| 項目※詳しく記入して下さい | 金額(当時の日本円) |
|--------------------------|------------|
| 渡航費(旅行会社に支払った経費) | 35万円 |
| 授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等) | 7万円 |
| 私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等) | 10万円 |
| 現地からの奨学金がある場合 | 0円 |
| お土産代や個人的な買い物 | 30万円 |
| その他(旅費・ビザ代) | 18万円 |
| 留学に関する費用の総額 | 100万円 |



